

UCN-T7

RoHS2
指令適合品

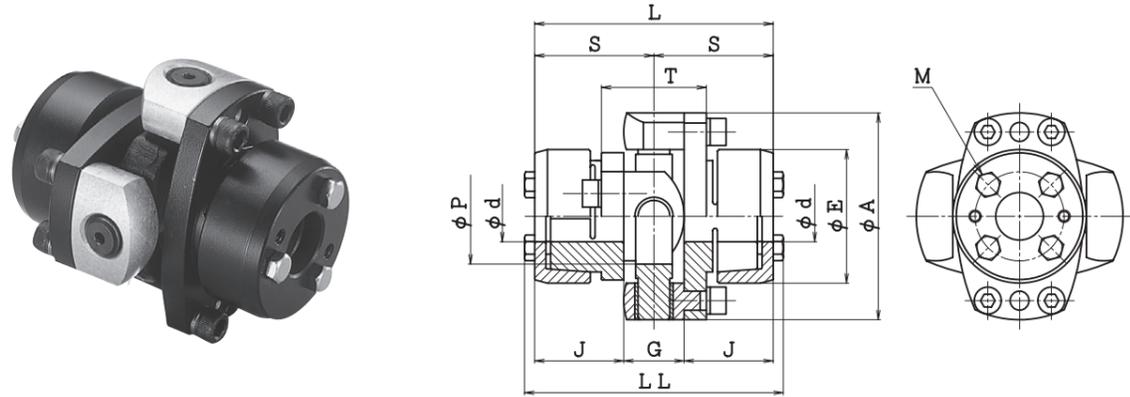
サーボ
モータ

パルス
モータ

各種
モータ

テーパクランプ仕様により

小さな締付けトルクで軸締結が可能です。



性能・寸法

(寸法単位:mm)

型番	許容トルク N·m	最大トルク N·m	許容スラスト N	許容偏心 mm	許容偏角 °	最高回転速度 min ⁻¹	ねじり剛性 N·m/rad	慣性モーメント kg·m ²	質量 kg	d	A	E	P	L	LL	S	T	J	G	M
UCN-65T7	40	80	1450	0.2	1	6000	1.08×10 ⁵	3.15×10 ⁻⁴	0.76	14~20	65	47	30	75	81	37.5	33	28	19	M4
UCN-80T7	80	160	2350	0.2	1	6000	2.37×10 ⁵	8.20×10 ⁻⁴	1.16	16~35	80	60	39	88	95	44	36	33	22	M4/M5
UCN-100T7	160	320	3750	0.2	1	6000	4.66×10 ⁵	2.52×10 ⁻³	2.32	22~40	100	74	45	102	109	51	48	37	28	M5
UCN-125T7	320	640	6000	0.2	1	6000	8.80×10 ⁵	7.09×10 ⁻³	4.38	32~42	125	86	61	122	129	61	61	43.5	35	M5
UCN-155T7	640	1280	9750	0.2	1	6000	1.66×10 ⁶	1.93×10 ⁻²	7.51	45~60	155	108	76	143	151	71.5	71	51	41	M6

標準軸穴径:d

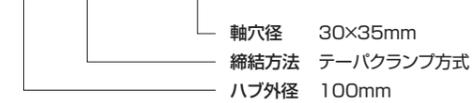
(単位:mm)

型番	d																					
	14	15	16	17	18	19	20	22	24	25	28	30	32	35	38	40	42	45	48	50	55	60
UCN-65T7	●	●	●	●	●	●	●															
UCN-80T7			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
UCN-100T7							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
UCN-125T7													●	●	●	●	●					
UCN-155T7																		●	●	●	●	●

- UCN-125T7およびUCN-155T7は標準品(納期確認品)です。
- 許容トルクは回転速度が1500min⁻¹の場合を表します。
- 最大トルクは起動時およびブレーキ時に瞬間的に伝達できるトルクです。
- 許容スラスト荷重は負荷トルクをゼロとした場合の静的許容荷重を表します。
- ねじり剛性はメタル部のみの値です。
- 慣性モーメント、質量は軸穴径が最大の場合を表します。
- 取付軸はJ寸法まで確実に挿入してください。
- 推奨軸公差はh6です。(軸径35mmの場合は公差^{+0.010}にも対応できます。)
- 使用条件によっては許容以上の偏心・偏角で使用が可能です。お問い合わせください。

ご注文方法(例)

UCN-100T7-30X35



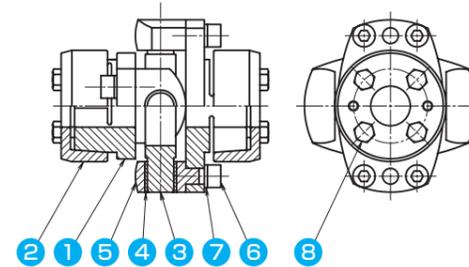
オプション

●簡易防錆(ドライループコーティング)対応

※詳細はお問い合わせください。

- 標準軸穴径以外の穴径に対応できる場合もあります。お問い合わせください。
- 軸締結方式を片側だけボルトクランプタイプにすることもできます。(11ページ参照)

材質



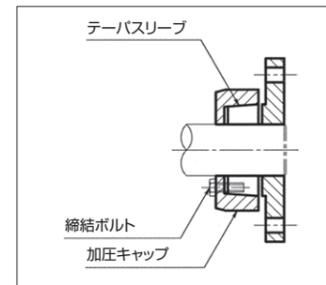
	部品名	材質
1	ハブ	S45C
2	加圧キャップ	SCM435
3	クロスピン	SCM420
4	メタル	ポリイミド樹脂
5	アーム	A2017
6	アーム締付ボルト	SCM435
7	スプリングワッシャ	SWRH
8	締結ボルト	SCM435

※M4サイズの締付ボルトはSUSXM7となります。
※UCN-125T7・155T7のメタルは、ふっ素樹脂(裏金SPCE)となります。

締結部伝達能力

型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m	型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m	型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m	型番	軸穴径 mm	伝達能力 N·m
UCN-65T7	14	56	UCN-80T7	19	151	UCN-100T7	22	263	UCN-125T7	32	510
	15	60		20	159		24	287		35	558
	16	64		22	175		25	299		38	606
	17	68		24	191		28	335		40	637
	18	72		25	199		30	359	42	669	
	19	76		28	150		32	382	UCN-155T7	45	1010
	20	80		30	160		35	418		48	1077
UCN-80T7	16	128	32	171	38	303	50	1122			
	17	135	35	140	40	319	55	1234			
	18	143					60	1346			

軸締結部の構造



□締結ボルトで加圧キャップを締め込むことにより、テーパ面にくさび作用が働き、軸およびハブ内面に面圧が発生します。この面圧による摩擦力が軸とハブを完全に締結します。

軸取付け

型番	軸穴径 mm	締結ボルト		締付けトルク N·m
		サイズ	本数	
UCN-65T7	14~20	M4	3	2.1
UCN-80T7	16~25	M5	2	8.3
		M4	4	2.1
			3	
UCN-100T7	22~35	M5	3	8.3
			2	
UCN-125T7	32~42	M5	4	8.3
UCN-155T7	45~60	M6	4	13.7

- ①軸継手を軸の所定位置まで手で押し込みます。
- ②対向する締結ボルトを均等に増締めしたあと、トルクレンチを使用してボルトを規定の締付けトルクで締付けます。

軸取外し

- ①加圧キャップの締結ボルトを1本づつ徐々にゆるめ、加圧キャップを外します。
- ②上の作業で外せないときは、ハブフランジと加圧キャップの間にマイナスドライバ等を差し込んでこじれば、簡単に外せます。
(加圧キャップ端面にある2ヶ所の抜きタブに、外した締結ボルトをねじ込んで加圧キャップは外せます。)

